



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL http://www.toho-chem.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 井上 豊 TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,315	△2.2	227	—	△84	—	△182	—
28年3月期第1四半期	9,524	△2.1	17	105.4	△18	—	△72	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △413百万円 (-%) 28年3月期第1四半期 76百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△8.56	—
28年3月期第1四半期	△3.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	44,482	9,438	21.0
28年3月期	45,483	9,982	21.8

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,358百万円 28年3月期 9,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,700	△3.9	800	130.1	0	△100.0	△270	—	△12.66
通期	40,500	3.6	2,000	73.0	1,400	97.2	420	—	19.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年8月5日）公表いたしました「業績予想の修正並びに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	21,350,000株	28年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	17,191株	28年3月期	17,191株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	21,332,809株	28年3月期1Q	21,333,807株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、基調としては緩やかな回復を続けているものの、長引く新興国経済の減速の影響から輸出・生産面に力強さを欠き、個人消費も円高進行によるインバウンド消費の落ち込みなどの影響で弱含みに推移しました。

また、6月には英国のEU離脱決定を受け、世界経済の不確実性の高まりから、円が急騰するなど、景気の先行きに一段と不透明感が強まっています。

化学業界におきましても、前期まで企業収益を押し上げてきた円安・原油安の流れが一服し、今後、世界的な景気減速下での円高進行による輸出環境の悪化が懸念されます。

このような経営環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売数量は全体として伸長したものの売価下落の影響により、前年同期比2億8百万円、2.2%減収の93億15百万円となりました。

利益面は、東邦化学(上海)有限公司における営業損益の改善に遅れがみられるものの、前期からの原材料価格値下がりによる利益率の改善効果により営業利益は増益となりました。一方、経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、東邦化学(上海)有限公司での円高による多額の為替差損の発生の影響で損失計上を余儀なくされました。

その結果、営業利益は、前年同期比2億10百万円増益の2億27百万円、経常損益は、84百万円の損失(前年同期は18百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損益は、1億82百万円の損失(前年同期は72百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

トイレタリー用界面活性剤は、一般洗剤などで数量は伸びたものの売価下落の影響で減収となりました。プラスチック用界面活性剤は、帯電防止剤等が低調で減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート関連薬剤の需要低迷が続く減収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、消泡剤などが振るわず減収となりました。繊維助剤は、染色助剤などが伸長し増収となりました。農薬助剤は、乳剤用の海外需要向けなどが低調に推移し減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億27百万円、2.5%減収の49億11百万円となり、セグメント利益は、前年同期比2億48百万円増益の2億94百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、大口ユーザー向け販売が大幅に伸長し増収となりました。合成樹脂は土木関連用が低調、樹脂エマルジョンは、フローポリッシュ用が振るわず、共に減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比96百万円、14.4%増収の7億71百万円となり、セグメント利益は、15百万円(前年同期は44百万円の損失)となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売が低調で大幅な減収となりました。石油添加剤は、油水分離剤や脱ロウ助剤等が伸長し増収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤などが低調で減収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比1億18百万円、7.5%減収の14億52百万円となり、セグメント利益は、前年同期比78百万円増益の95百万円となりました。

(スペシャリティケミカル)

溶剤は、プレーキ液用や医薬品製造用向けなど全体として数量は増加したものの、売価下落の影響により減収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体関連用の一時的な出荷調整の影響で減収となりました。アクリレートは、電子情報材料関連の需要回復により増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比59百万円、2.7%減収の21億60百万円となり、セグメント利益は、前年同期比2百万円増益の60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、444億82百万円と前期末比10億円の減少となりました。その内訳は、流動資産が2億40百万円減少の237億94百万円、固定資産が7億60百万円減少の206億88百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が7億67百万円の増加、受取手形及び売掛金が2億16百万円の減少、たな卸資産が6億87百万円の減少です。

固定資産の主な増減は、有形固定資産が6億13百万円の減少、投資その他の資産が90百万円の減少です。

一方、負債合計は350億44百万円と前期末比4億56百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で、支払手形及び買掛金が5億9百万円の減少、短期借入金が5億84百万円の増加、未払法人税等が3億96百万円の減少、賞与引当金が2億39百万円の減少、固定負債で、長期借入金が1億40百万円の増加です。

純資産は、94億38百万円と前期末比5億43百万円の減少となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純損失により3億10百万円の減少、その他の包括利益累計額が2億26百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は21.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、個別業績での売価下落による影響ならびに東邦化学（上海）有限公司での販売の遅れから当初計画を下回って推移しており、前回公表予想を下回る見通しです。

利益面は、個別業績は概ね前回公表予想通りで推移しているものの、東邦化学（上海）有限公司での業績改善の遅れと同社の円建て借入債務に係る多額の為替差損発生の影響で前回公表予想を下回る見通しです。

その結果、平成28年5月13日に「平成28年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました平成29年3月期第2四半期累計期間の業績予想を連結・個別ともに修正しております。

なお、通期予想につきましては、為替相場の動向など不透明要因が多く、合理的な予想が困難なため現時点では修正いたしません。

本修正に関しましては、別途、本日（平成28年8月5日）付「業績予想の修正並びに営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,439	6,206
受取手形及び売掛金	8,876	8,659
たな卸資産	8,746	8,058
その他	972	869
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,034	23,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,270	8,025
機械装置及び運搬具(純額)	3,727	3,438
土地	3,146	3,146
建設仮勘定	5	11
その他(純額)	1,782	1,696
有形固定資産合計	16,933	16,320
無形固定資産	931	874
投資その他の資産	3,584	3,493
固定資産合計	21,448	20,688
資産合計	45,483	44,482

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,692	6,183
短期借入金	7,200	7,784
1年内償還予定の社債	300	1,600
未払法人税等	417	21
賞与引当金	384	144
その他	2,131	2,215
流動負債合計	17,126	17,950
固定負債		
社債	5,620	4,320
長期借入金	6,702	6,842
役員退職慰労引当金	111	99
退職給付に係る負債	4,565	4,547
資産除去債務	59	59
その他	1,316	1,225
固定負債合計	18,374	17,094
負債合計	35,501	35,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,678	5,368
自己株式	△4	△4
株主資本合計	8,325	8,015
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	744	678
為替換算調整勘定	1,139	972
退職給付に係る調整累計額	△313	△307
その他の包括利益累計額合計	1,570	1,343
非支配株主持分	86	79
純資産合計	9,982	9,438
負債純資産合計	45,483	44,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,524	9,315
売上原価	8,368	7,923
売上総利益	1,156	1,392
販売費及び一般管理費	1,139	1,164
営業利益	17	227
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	25	26
物品売却益	11	8
為替差益	12	—
その他	15	5
営業外収益合計	66	41
営業外費用		
支払利息	75	67
為替差損	—	264
その他	26	21
営業外費用合計	101	353
経常損失(△)	△18	△84
特別損失		
固定資産廃棄損	2	—
投資有価証券売却損	—	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△20	△86
法人税等	52	94
四半期純損失(△)	△73	△181
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	1
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△72	△182

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△73	△181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141	△65
為替換算調整勘定	6	△173
退職給付に係る調整額	2	6
その他の包括利益合計	149	△232
四半期包括利益	76	△413
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76	△409
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,039	674	1,570	2,220	9,505	19	9,524	—	9,524
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	42	42	△42	—
計	5,039	674	1,570	2,220	9,505	62	9,567	△42	9,524
セグメント利益 又は損失(△)	45	△44	16	57	76	8	84	△67	17

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△67百万円には、棚卸資産の調整額△78百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,911	771	1,452	2,160	9,296	18	9,315	—	9,315
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	49	49	△49	—
計	4,911	771	1,452	2,160	9,296	68	9,364	△49	9,315
セグメント利益	294	15	95	60	466	5	471	△244	227

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△244百万円には、棚卸資産の調整額△294百万円等が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。